



日本神の教会連盟

CHURCH OF GOD JAPAN

第260号
2009年 春号

神の教会



私たちのリバイバルのために

日本神の教会連盟のビジョン

日本神の教会連盟委員長
練馬神の教会 牧師

金本悟

『霊性の回復』と『開拓伝道のスピリットの回復』を指して

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」

(使徒言行録1章8節)

日本神の教会連盟は、昨年、百周年記念祭を祝いました。今年、二〇〇九年から、私たちは次の百年に向かって歩み始めています。改めて、連盟の歴史を振り返り、数々の悲しい歴史的現実の中に

金本悟師



あっても、実はそれに勝る神様の恵みの現実があったことを教えられています。

新たな希望と勇気を与えられて前に進んでいきましょう。

上記のみ言葉は、イエス様が昇天される直前、別れの時にあたり、愛を持って訓練された弟子たちに与えられた約束です。イエス様は「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。(マルコ1:15)」と宣べ伝えて公生涯を始められ、十字架への道を歩みきり、十字架に架かり、復活し、昇天されました。弟子たちは、その生涯を共に歩みながら、イエス様に愛されていること、また敵を愛し赦すことを教わりました。罪赦された者として、神の国に生き、神の国が広がっていくために遣わされていることを教えられました。そして今、聖霊の導きの中で、イエス様の証人となっていくように、約束の言葉を託されたのです。

使徒言行録を読むときに、聖霊に導かれることの意味も、聖霊に導かれた教会の歩みも知ることができます。イエス様の弟子たちは迫害によって散らされて行きましたが、その事実を聖霊の導きとして受けとめ、主を証しし続けたのです。彼らはイエス様の教えを大切にしながら、散らされた所々で、神の国を宣べ伝えて行つたのです。

弟子たちは、権力争いや仲違い、偽りや裏切り、それらが教会の中にも入り込む罪の現実を真つ正面から見据えていました。そして、その現実のただ中にも、神様の導きによって、罪の赦しや和解が実現していくことを信じて、イエス様の教えを守り抜きました。聖霊に導かれて力を受け、イエス様の証人となっていく、という真実を学び続けたのでした。彼らを支え続けたのは、イエス様の約束であり、再びイエス様にお会いできる希望でした。それこそが、弟子たちのスピリットの原点だったのです。